

1. 概要

水研研究・教育機構を代表とする共同実施機関（※1）は、水産庁の我が国周辺水産資源調査・評価等推進委託事業を受託し、我が国周辺水域における主要な水産資源の資源評価を実施しております。資源評価対象魚種は、漁獲可能量（TAC、Total Allowable Catch）制度の対象魚種であるマイワシ、マサバ、ゴマサバ、マアジ、スケトウダラ等を含む50魚種84系群です。

本会議では、各評価対象資源について、水研研究・教育機構から資源調査の結果、資源評価の方法、生物学的許容漁獲量（ABC、Allowable Biological Catch）、管理方策の提言等について説明し、共同実施機関、有識者等の関係者間で資源評価（案）の妥当性等について検討します。

資源評価結果は、本会議後、水産庁によるパブリックコメントを経て、10月末（下記A～Fの会議で対象とする魚種）及び12月末（下記G～Iの会議で対象とする魚種）に公表される予定です。

※1 共同実施機関：国立研究開発法人 水産研究・教育機構、都道府県水産試験研究機関、大学、一般社団法人 漁業情報サービスセンター

2. 各会議の開催日程、開催地

会議番号	開催日	会議名	開催地
A	7月26, 27日	中央ブロック資源評価会議（マイワシ太平洋系群、マアジ太平洋系群など）	横浜市
B	8月2, 3日	西海ブロック資源評価会議（マイワシ、マアジ、マサバ対馬暖流系群など）	長崎市
C	8月23, 24日	瀬戸内海ブロック資源評価会議（カタクチイワシ瀬戸内海系群、トラフグ日本海・東シナ海・瀬戸内海系群など）	広島市
D	8月29, 30日	東北ブロック資源評価会議（ズワイガニ太平洋北部系群、マダラ太平洋北部系群など）	八戸市
E	9月1, 2日	北海道ブロック資源評価会議（スケトウダラ日本海北部系群、太平洋系群など）	釧路市
F	9月6, 7日	日本海ブロック資源評価会議（ズワイガニ日本海系群、ベニズワイガニ日本海系群など）	新潟市
G	12月1日	スルメイカ資源評価会議	横浜市
H	12月2日	ブリ資源評価会議	横浜市
I	12月2日	マサバ、ゴマサバ太平洋系群資源評価会議	横浜市

3. 申込み

下記URLにて、7月11日より、各会議開催日の1週間前の17時00分まで申し込みを受け付けます。